

製品名: Fascin Rabbit モノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86628

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:1000,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	Fascin
別名	HSN; SNL; p55; FAN1
遺伝子 ID	6624
SwissProt ID	Q16658
免疫原	ヒト Fascin の組換えタンパク質

背景

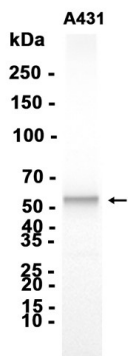
この遺伝子は、アクチン結合タンパク質であるファシンファミリーのメンバーをコードしています。ファシンタンパク質は F-アクチ

ンを平行な束に組織化し、アクチンを基盤とした細胞突起の形成に必須です。コードされているタンパク質は、細胞の移動、運動性、接着、そして細胞間相互作用において重要な役割を果たします。この遺伝子の発現は複数のマイクロ RNA によって制御されることが知られており、過剰発現は細胞運動性を高めることで、複数の種類の癌の転移に関与している可能性があります。この遺伝子の発現は、ホジキンリンパ腫におけるリード・シュテルンベルグ細胞のマーカーでもあります。この遺伝子の偽遺伝子は、15番染色体長腕に位置しています。[RefSeq 提供、2011年9月]

研究分野

-

画像データ



Fascin ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して A431 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。